

花王のCSR調達活動

花王株式会社
購買部門

会社概要

2012年3月31日現在

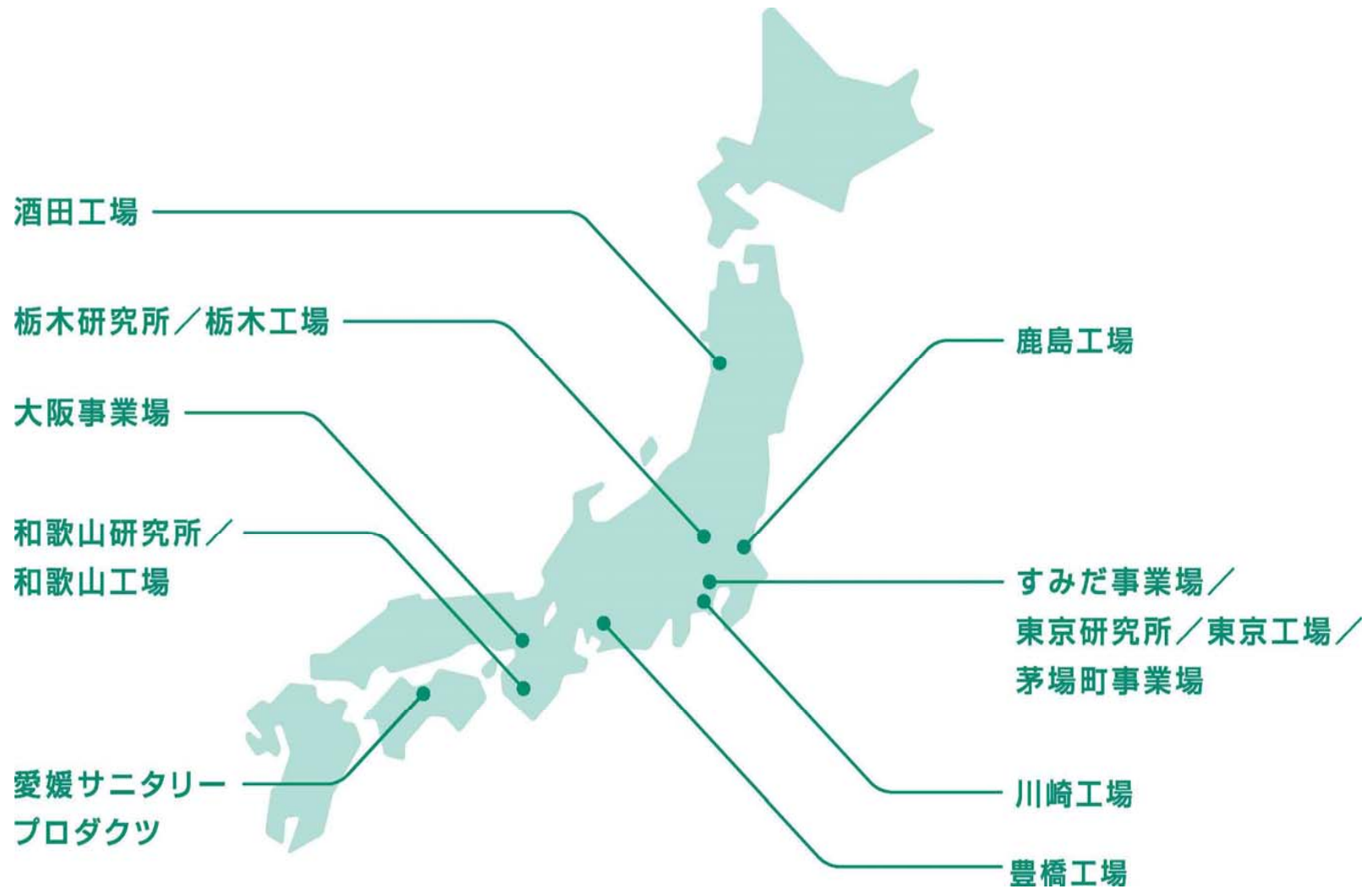
- 商号 花王株式会社 (Kao Corporation)
- 本店所在地 東京都中央区日本橋茅場町一丁目14番10号
- 創業 1887年6月 (明治20年)
- 設立 1940年5月 (昭和15年)
- 売上高 1兆2,160億円 (連結)
- 資本金 854億円
- 従業員数 5,924名 (連結対象会社合計 34,743名)
(2011年3月31日現在)



本社



国内の事業拠点



主要関係会社



オランダ

KPSS Nederland B.V. ■

イギリス

Kao Brands Europe Ltd. ■
 KPSS (UK) Ltd. ■
 Molton Brown Ltd. ■

ドイツ

KPSS-Kao Professional Salon Services GmbH ■
 Guhl Ikebana GmbH ■
 Kao Corporation GmbH ■
 Kao Chemicals GmbH ■

スペイン

Kao Chemicals Europe, S.L. ■
 Kao Corporation S.A. ■

スイス

KPSS AG ■
 Kanebo Cosmetics (Europe) Ltd. ■

中国

花王(中国)投資有限公司 ■ ■ ■ ■ ■
 上海花王有限公司 ■ ■ ■ ■ ■
 花王(上海)産品服務有限公司 ■ ■ ■ ■ ■
 上海佳麗宝化粧品有限公司 ■ ■ ■ ■ ■
 上海花王化学有限公司 ■ ■ ■ ■ ■
 花王(上海)貿易有限公司 ■ ■ ■ ■ ■
 花王(香港)有限公司 ■ ■ ■ ■ ■

ベトナム

Kao Vietnam Co.,Ltd. ■ ■

タイ

Kao Industrial(Thailand) Co.,Ltd. ■ ■ ■ ■ ■
 Kao Commercial(Thailand) Co.,Ltd. ■ ■ ■ ■ ■
 Kao Consumer Products
 (Southeast Asia) Co.,Ltd. ■ ■ ■ ■ ■

マレーシア

Kao Soap(Malaysia) Sdn. Bhd. ■ ■ ■ ■ ■
 Kao(Malaysia) Sdn. Bhd. ■ ■ ■ ■ ■
 Fatty Chemical(Malaysia) Sdn. Bhd. ■ ■ ■ ■ ■
 Kao Plasticizer(Malaysia) Sdn. Bhd. ■ ■ ■ ■ ■
 Kao Oleochemical(Malaysia) Sdn. Bhd. ■ ■ ■ ■ ■

シンガポール

Kao(Singapore) Private Ltd. ■ ■ ■ ■ ■

日本

スナッフショットツール

花王カスタマーマーケティング(株) ■ ■ ■ ■ ■
 (株)カネボウ化粧品 ■ ■ ■ ■ ■
 カネボウ化粧品販売(株) ■ ■ ■ ■ ■
 (株)エキップ ■ ■ ■ ■ ■
 (株)リサーチ ■ ■ ■ ■ ■
 カネボウコスミリオン(株) ■ ■ ■ ■ ■
 ニベア花王(株) ■ ■ ■ ■ ■
 愛媛サニタリープロダクツ(株) ■ ■ ■ ■ ■
 花王プロフェッショナル・サービス(株) ■ ■ ■ ■ ■
 花王クエーカー(株) ■ ■ ■ ■ ■

台湾

花王(台湾)股份有限公司 ■ ■ ■ ■ ■

フィリピン

Pilipinas Kao, Incorporated ■ ■ ■ ■ ■

インドネシア

P.T. Kao Indonesia ■ ■ ■ ■ ■
 P.T. Kao Indonesia Chemicals ■ ■ ■ ■ ■

オーストラリア

KPSS Australia Pty. Ltd. ■ ■ ■ ■ ■
 Kao(Australia) Marketing Pty. Ltd. ■ ■ ■ ■ ■

カナダ

Kao Brands Canada Inc. ■ ■ ■ ■ ■
 KPSS Canada Ltd. ■ ■ ■ ■ ■

アメリカ

Kao Brands Company ■ ■ ■ ■ ■
 KPSS, Inc. ■ ■ ■ ■ ■
 Kao Specialties Americas LLC ■ ■ ■ ■ ■

メキシコ

Quimi-Kao, S.A. de C.V. ■ ■ ■ ■ ■

■ ビューティケア事業 ■ ヒューマンヘルスケア事業 ■ ファブリック&ホームケア事業 ■ ケミカル事業



Bioré

JOHN FRIEDA
 LONDON PARIS NEW YORK

GOLDWELL
 CLOSER TO STYLISTS. CLOSER TO HAIR.

Curél

Jergens

Kanebo

SCFINA

Essential
 DAMAGE-CARE

liese

Merries
 メリーズ

Laurier
 OJI

アヲ

マジックリン

事業内容紹介

清潔・健康・美に貢献する家庭品

消費者視点

ビューティケア事業

「美しくありたい」という願いにトータルで応える



プレステージ化粧品
(カウンセリング化粧品、セルフ化粧品など)



プレミアムスキンケア製品
(化粧石けん、洗顔料、全身洗淨料など)



プレミアムヘアケア製品
(シャンプー、リンス、ヘアスタイリング剤、ヘアカフーなど)

ヒューマンヘルスケア事業

毎日の快適な健康生活のための「心と体のデイリーヘルスケア」



フード&ビバレッジ製品
(食用油、飲料など)



サニタリー製品
(生理用品、紙おむつなど)



パーソナルヘルス製品
(入浴剤、歯みがき・歯ブラシ、男性化粧品など)

ファブリック&ホームケア事業

「快適で楽しく！
こころ豊かな暮らし」を提案



ファブリックケア製品
(衣料用洗剤、柔軟仕上げ剤など)



ホームケア製品
(台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品、業務用製品など)



事業内容紹介

産業界の発展に貢献する化学品

顧客視点

ケミカル事業

明日の産業界に貢献する
“驚き”のある花王独自の
製品とサービス



油脂製品
(油脂アルコール、油脂アミン、
脂肪酸、グリセリン、業務用食用
油脂など)



機能材料製品
(界面活性剤、プラスチック用
添加剤、コンクリート用高性能
減水剤など)



スペシャルティケミカルズ製品
(トナー・トナーバインダー、香料、
インクジェットプリンターインク用
色材など)

最初の製品

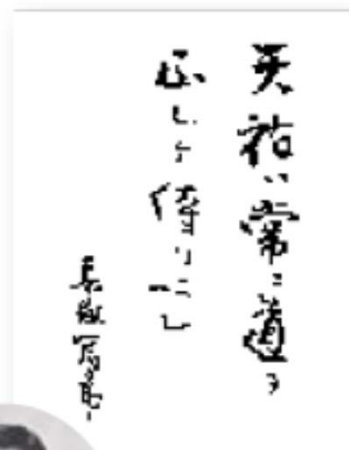
1890年(明治23年)に発売



初の高級石鹼として
発売された「花王石鹼」

花王ウェイのルーツ

創業者が遺した言葉、
「天佑は常に道を正して待つべし」を原点に

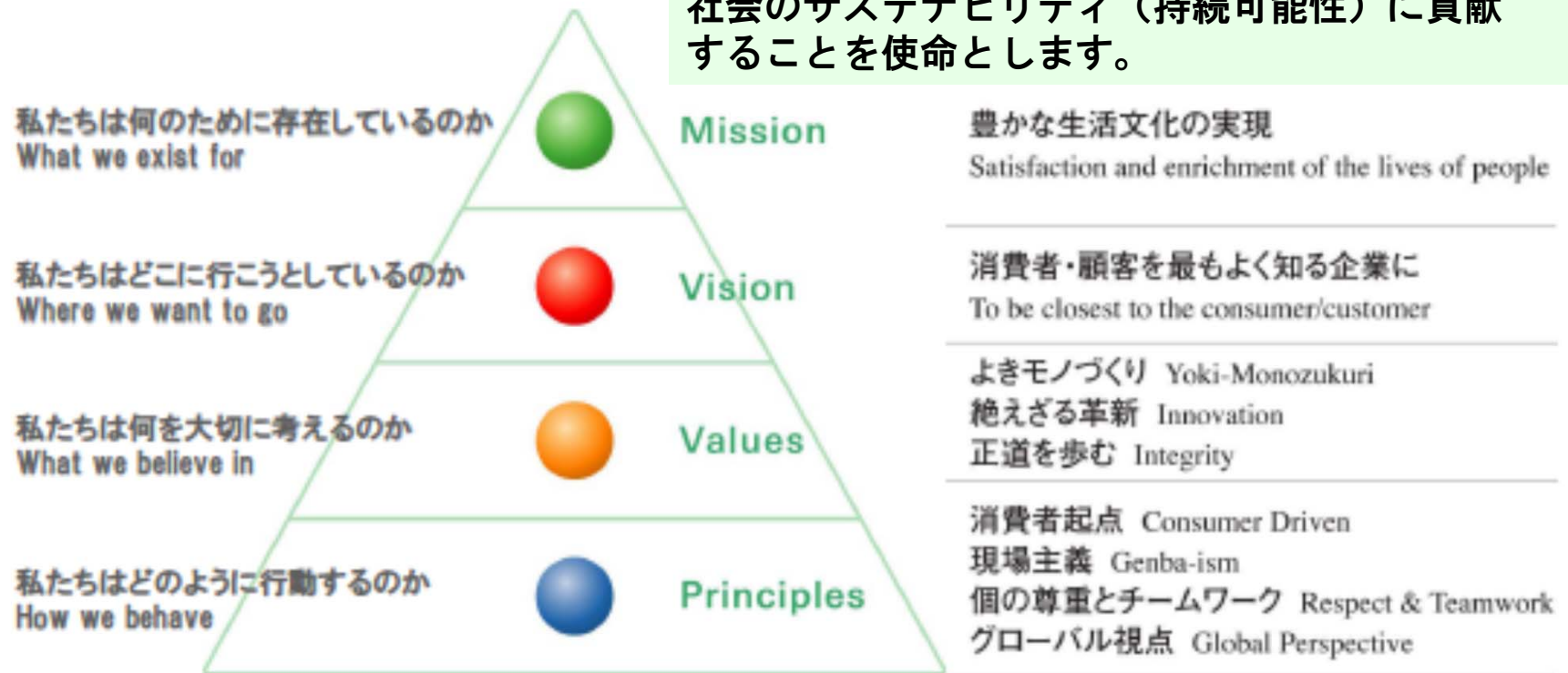


創業者
長瀬 富郎

花王ウェイ（基本理念）

グローバル理念として2004年制定

私たちは、消費者・顧客の立場にたって、心をこめた“よきモノづくり”を行ない、世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、社会のサステナビリティ（持続可能性）に貢献することを使命とします。



一人ひとりの日々の行動を規定

花王ビジネス コンダクトガイドライン（BCG）

花王 CSR調達の取組み

CSR調達活動概要

1998年度 お取引先懇談会の実施

2000年度 お取引先満足度調査の実施

2003年度 グリーン調達基準制定。グリーン調達開始。

2005年度 原材料調達基本方針制定

2006年度 CSR調達基準制定

グリーン調達からCSR調達へ

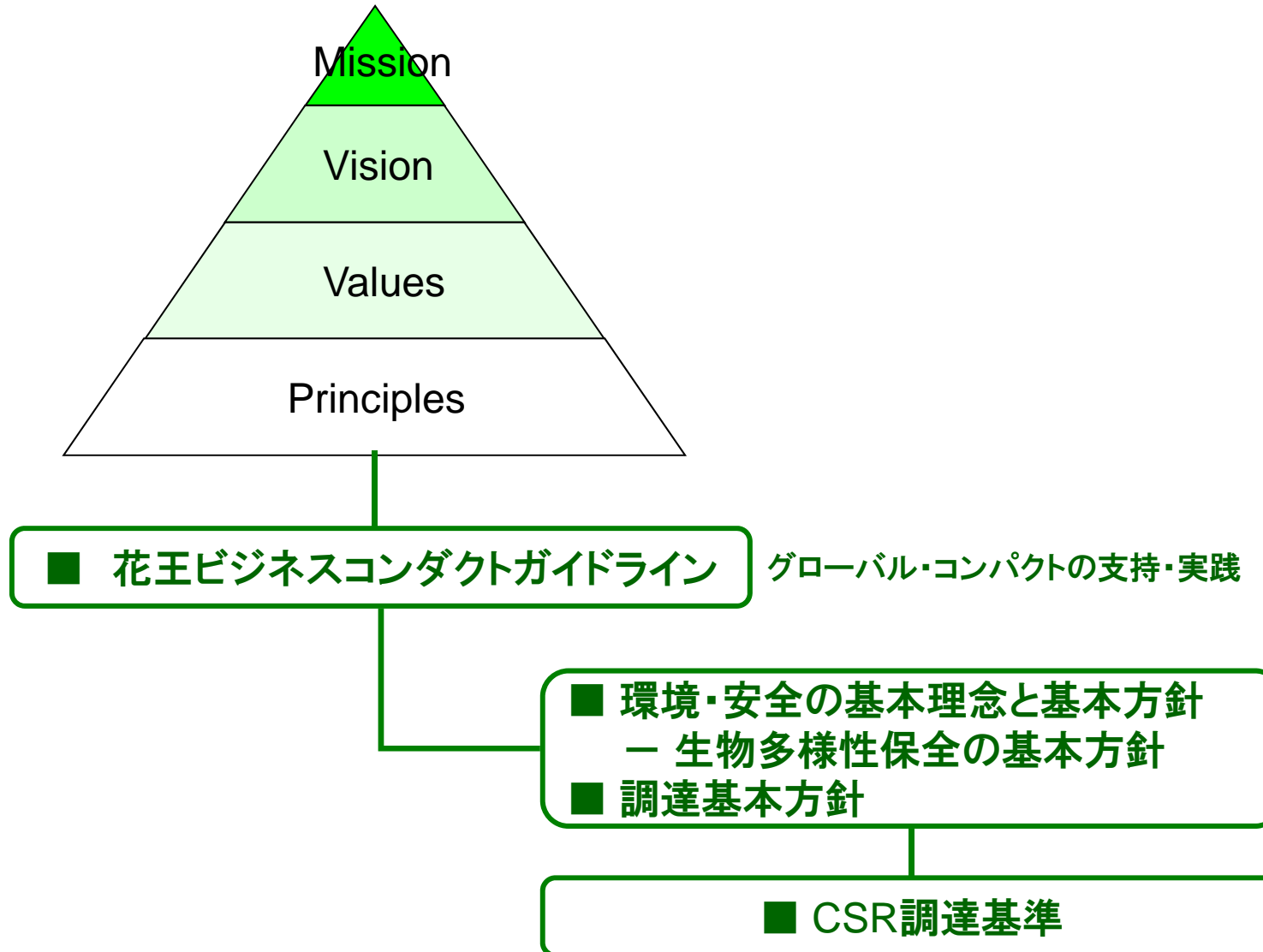
2007年度 RSPO (持続可能なパーム油のための円卓会議) 加盟

2008年度 下請法遵守 e-ラーニングの実施

2009年度 CSR調達基準に達しないお取引先への改善要請

2010年度 モニタリング実施

花王ウェイ



■ 花王CSR調達関係資料

CSR調達についてのお取引先へのガイドライン

新規取引時およびCSR調査時にお取引先に提示
お取引先の「環境保全」「社会的責任」について、自己評価をいただく

花王CSR調達関係資料

目次

項	目	頁
1	環境・安全基本理念と方針	2
2	原材料・機材調達基本方針	3
3	CSR調達基準	4
4	お取引先環境保全自己評価票	6
5	お取引先の社会的責任に関する自己評価票	7
6	化学物質総合管理基準	8

環境・安全 基本理念

製品の開発・生産・流通・消費・廃棄までの事業の全段階において、環境の保全と人の安全に配慮し、持続的発展可能な社会の実現に貢献します。

環境・安全基本方針

1. 従業員の健康・安全と操業の安全

従業員の健康増進と快適な職場環境の形成および安全な操業の維持に努める。また、定期的に訓練を行い、安全の確保、緊急時の対応に備える。

2. 環境・安全に配慮した製品の開発

製品・技術の開発にあたっては、製造から廃棄までの全段階で環境・安全についての評価を行い、環境負荷が小さく消費者が安心して使用できる製品の提供に努める。

3. 省資源・省エネルギー・廃棄物削減

事業活動においては、省資源や省エネルギー等による温室効果ガス排出量の削減、節水や廃棄物の削減、リサイクルに努める。

4. 地域の人々の安全と環境保全に責任ある対応

事業活動においては、地域社会の一員として環境対策に積極的に取り組み、地域の人々の安全と環境の保全に努める。また環境・安全に悪影響を及ぼすような事態や状況には、迅速に責任を持って対処する。

5. 法規制・自主基準の遵守

事業活動のあらゆる場面において、関係する法規制や取り決めなどを遵守するとともに、自主的な行動基準を設定し、忠実に実行する。

6. 教育の充実

従業員が、環境・安全に対する自らの責任を自覚して行動するために、教育を継続的に推進する。

7. 自主評価の実施

P D C A サイクルの継続的なレベルアップを図るために、定期的な監査・自主評価を行う。

8. 情報開示と社会との信頼の向上

環境・安全に関する方針、データを積極的に開示し、双方向コミュニケーションを行い、社会からの信頼の向上に努める。

生物多様性保全の基本方針

1. 事業と生物多様性との関わりを把握します。
2. 事業が生物多様性へ与える影響を低減します。
3. 生物多様性のもたらす恵みを大切に活用するため、独自の技術開発を進めます。
4. 国際的な取り決めに遵守します。
5. 地域の生態系に配慮した事業活動に努めます。
6. 生物多様性に関して、全ての社員の意識向上や部門間の情報共有を進めます。
7. 生物多様性の保全に関して、社外の関係者と連携を図ります。

購買部門 調達基本方針

花王は遵法と高い倫理観に基づき、公正・公平な購買活動をします。

花王は購買活動においても環境や安全などに十分配慮し、企業の社会的責任を果たす努力をします。

1.公正・公平

- (1)購買取引を行うにあたり、原材料・機材の品質、価格、納期、その購入先の企業経営の安定性、製造・供給能力、環境保全への取り組みなど、合理的な基準に基づき、公正に取引先を決定します。
- (2)購買取引を行うにあたり、国の内外問わず、お取引先には公平に競争の機会を提供します。

2.遵法・倫理

- (1)購買取引を行うにあたり、関連する法律を遵守し、その精神を尊重した上で業務を遂行します。
- (2)購買取引を通じて知り得たお取引先の機密情報を守秘します。
又第三者の知的財産権などの権利を侵害するような購買取引は行いません。
- (3)購買取引を行うにあたり、弊社製品・サービスの販売を目的とする相互取引は行いません。
- (4)お取引先との「接待・贈答」は社会常識の範囲内とし、社内基準に従います。
又購買部員個人はお取引先との接待・贈答品の授受を原則として禁止しています。

3.社会的責任

- (1)購買取引を行うにあたり、「持続的発展可能な社会の実現」への貢献を目指し、資源保護・環境保全や安全、人権などに十分配慮し、企業としての社会的責任を果たす取り組みをします。
- (2)お取引先と必要な情報を交換しあい、取引の条件や相互の行動などについて真摯に評価しあい、相互のレベルアップに努めます。

CSR調達基準概要（社会面）

お取引先の社会的責任の配慮項目

当社は、法令や社会規範の遵守、人権の擁護、安全衛生の確保、公正な取引等の社会的責任にも配慮する取引先から優先して調達します。

- 法令と社会規範、企業倫理方針(規程)の遵守措置
- あらゆる差別の排除と不法労働の禁止措置
- 安全で衛生的な職場環境の提供と労働関連法令の遵守
- 労働組合の結成や加入の自由の尊重
- 社会との共生を目指した社会支援
- 商取引に関する法令の遵守と公正な取引
- 接待・贈答等に関する規定と公務員への贈賄禁止
- 公正で透明な取引のための内部監査や承認システムの確立
- 取引上の機密情報の厳重な管理と適切な情報の提供や開示
- 知的財産権の侵害防止措置

CSR調達基準概要（環境面）

お取引先の環境配慮項目

当社は、環境マネジメントシステムをはじめとする下記の項目に配慮し、当社に協力戴けるお取引先からの調達を優先します。

- 環境マネジメントシステムの構築及び維持向上
- 化学物質の適正な管理
- 法規制や製品の環境側面を評価・管理するシステムの構築
- 生物多様性の保全、地球温暖化ガス排出抑制、省資源、省エネルギー等の自主管理
- 廃棄物の削減、適正処理
- 環境報告書など環境への取組みの開示
- 商品情報（内容物、環境負荷情報）の開示

調達品の環境配慮項目

調達品及びその梱包材は、下記項目を配慮した調達品を優先します。

- 環境汚染物質の削減
（法及び花王の『化学物質総合管理基準』に従い品質規格証明書で保証）
- 省資源・省エネルギー
- 生物多様性に配慮した持続可能な天然資源の利用
- 長期使用性
- 再使用の可能性
- リサイクルの可能性
- 再生素材等の利用
- 処理・処分の容易性

化学物質の開示と保証

お取引先には花王の『化学物質総合管理基準』に従い品質規格証明書で調達品の成分を開示して戴き、特に使用禁止化学物質が含まれていないこと、および使用削減化学物質や取扱注意化学物質等の配合量(混入量)を保証して戴きます。
また、成分等の内容に変更が生じた場合は、速やかに上記書類の提出をお願いします。

お取引先へのCSR調査

花王では、CSR調達推進のため、お取引先の工場について、環境マネジメントシステム(EMS)の構築・運用状況など、「環境面」の取組みや、法令や社会規範の遵守、労働・人権問題への取組みや社会支援活動、適正な商取引や管理などの「社会面」の取組み状況を調査・評価しています。
評価において基準に満たなかったお取引先にたいしては、改善要請をしています。

調査対象

- 「環境面」 製造 工場・事業所
- 「社会面」 販売者と製造者（会社、事業者）

■ サプライチェーン上流への対応

- ・ 持続可能なパーム油／パーム核油の調達
 - － 持続可能なパーム油の円卓会議（RSPO）参画
 - ・ 化学物質管理
 - － 国際化学物質管理戦略(SAICM)に沿った管理
 - － JAMP設立メンバーとして、MSDSplus*)推進
- *)特定化学物質の情報伝達シート

- 「持続可能なパーム油・パーム核油」の全量調達に向けての取組み。

熱帯雨林の伐採による生態系の破壊や、農園での
厳しい労働条件などパーム油生産に関する課題解決
をめざすNPO「持続可能なパーム油の円卓会議
(RSPO)」に2007年に加盟しました。

花王は、十分な量を調達できる限り、2015年までに
認証されたパーム油およびパーム核油のみ使用する
ことをめざしています。



ビジネスとCSRの融合 (Creating Shared Value)

『花王 環境宣言』 いっしょにeco

花王の製品は、多くのご家庭で、毎日のように使っていただく製品です。
だから、モノづくりのプロセスだけでなく、お客さまに使っていただく中でも
花王独自の技術を活かし、環境に負荷を与えないような製品をつくっていきます。
そして、原材料調達や生産、物流、販売、使用、廃棄など、製品がかかわるサイクルの中で
消費者をはじめさまざまなステークホルダーの方といっしょに実行できる、
よりecoな方法を提案してまいります。

自然と調和する ところ豊かな毎日をめざして。

3つの『いっしょにeco』

●お客さまと“いっしょにeco”

製品をとおして、日常的に無理なく続けていただくeco。
環境に配慮し、節約にもつながる製品を提案します。

- ◆節水・省エネ型製品
- ◆詰め替え・つけ替えなど省資源型製品
- ◆コンパクト化、濃縮化による省資源型の製品

●パートナーと“いっしょにeco”

原材料調達、生産、物流、販売などのビジネスパートナーの
皆さまと共にすすめるecoを提案します。

- ◆回収PETボトルの樹脂の使用
- ◆製品の配送の効率化(配送頻度の低減、梱包材料の省資源化)
- ◆植物系原料など持続可能な原料への転換の加速

●社会と“いっしょにeco”

ひろく社会全体の環境活動と連携したeco活動を
積極的に行なっていきます。

- ◆環境保全活動の支援(みんなの森づくり活動)
- ◆業界、行政、および関連団体と共にすすめる環境活動

『2020年中期目標』

CO₂: 消費者向け製品 35%削減 [国内]
(全ライフサイクルベース、売上高原単位、2005年基準)

水: 製品使用時の水 30%削減 [国内]
(売上高原単位、2005年基準)

化学物質: SAICM(国際化学物質管理戦略)に沿って、
積極的に化学物質の管理に努めます。

生物多様性: 原材料の調達などの面で、その保全に
努めます。

* 産業界向け製品についても、顧客企業と共に
CO₂削減、省資源などに努めてまいります。

* 上記目標をファーストステップとして設定し、今後順次、
よりレベルアップした環境活動に努めてまいります。

『環境コミュニケーションマーク』



ご清聴ありがとうございました